



整形外科から総合的医療へ

理事長あいさつ

●理事長 阪本 一 樹

昭和42年に阪本整形外科医院として開院した当院は、平成11年に阪本病院に組織変更し、さらに昨年9月には聖心会阪本病院と法人化しました。

当院は、**整形外科**はもとより、**内科、外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科**と多くの診療科を備えた病院に成長しました。

常勤医師7名、非常勤医師10名はじめ、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカー、看護師等、総数115名のスタッフを擁します。特にリハビリテーション部門は理学療法士10名、作業療法士1名、言語聴覚士2名と県下有数の陣容です。法人化を期に、病院の理念と基本方針を作成しました。また病院の現状を広く知っていただくためにこの病院報を作りました。職員一同この理念と基本方針に基き、地域の皆様に真に信頼される病院造りに邁進しますので皆様方のより一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。



理 念

わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 人間の全人格を癒す全人医療を通じて、患者様に信頼される質の高い医療を提供します。
2. 患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意の医療を行います。
3. 地域医療機関として、急性期から回復期までの、リハビリテーションを含めた総合的医療を提供します。
4. 地域の保健・福祉・医療機関との密接な連携を行い、地域社会に貢献します。
5. 常に研鑽を行い、安全管理に最大の努力を払い、安心できる医療の提供を目指します。
6. 全職員が医療法人の一員としての自覚をもって、健全かつ透明な運営を行います。

各科診療室から

整形外科



阪本院長



阪本名誉院長

当整形外科は名誉院長が昭和42年に阪本整形外科医院を開業して以来、地域に信頼される整形外科医療を提供してきたと自負しております。現在常勤2名だけでなく毎週金曜日には香川大学、土曜日午後には徳島大学の非常勤の専門医が診療しております。又、4月からは常勤医が1名増員予定で有り、更に充実した陣容に成ります。

泌尿器科



竹中顧問

現代都市において、上水道と下水道は欠かせません。身体にとっても水は個体の維持に必要です。泌尿器科は身体の水の管理センターである腎臓と出来た尿を体外に出す通路(尿路)である尿管、膀胱、尿道の病気、さらに男性の生殖器である前立腺、睾丸などの異常を診断し、治療するところです。そのため、泌尿器科ではまず尿の検査を行います。いつもは何も考えずに捨ててしまう尿ですが、この中には身体のさまざまな情報、とくに尿が作られる腎臓のほか、通り路である尿路の状態を示すいろいろな成分が含まれているからです。この結果を見てから診察にかかりますので、いきなり下のほうを診ることはめったにありません。どうせ捨てるオシッコですが、身体の異常を見つけ出す一番手です。おかしいと思ったら気楽においで下さい。

脳神経外科



小川副院長

***脳の病気は早期発見、早期治療がきわめて大切です。**

画像診断技術の進歩により、脳の深いところにある腫瘍や症状が出ないような小さな脳梗塞、細くなりつつある脳の動脈などを早く正確に見つけ出すことが出来るようになりました。また将来くも膜下出血を起こすかどうかまで判断出来ますので、脳の病気も予防する時代になったといえるでしょう。当院ではMRI、ヘリカルCT等の最新機器を駆使して、脳疾患の早期発見、早期治療に努めています。また香川大学脳神経外科、救命救急センターとの連携により、地域の皆様にいつでも脳神経

外科治療を受けていただける体制をとっています。

***こんなときはまず脳神経外科へ。**

- 1) 頭を打った時(特に短時間でも意識を失った時)
- 2) 突然の頭痛や次第に強くなる頭痛
- 3) めまいと耳鳴り
- 4) 手足のしびれと脱力
- 5) 物忘れや見当ちがい

***また次のような方も一度検査をして頭の病気で倒れないよう日頃からの注意が必要でしょう。**

- 1) 高血圧症
- 2) 高コレステロール血症
- 3) 糖尿病
- 4) タバコをよく吸う
- 5) 家族や近い親戚に脳卒中になった人がいる

お気軽に脳神経外科を受診していただければ幸いです。

外科



吉田副院長

副院長の吉田勇人です。昭和35年12月生まれの43歳で、出身は岡山県です。昭和62年に香川医科大学(現香川大学医学部)を卒業し、平成13年8月から当病院に勤務しています。専門は一般・消化器外科で、上部及び下部消化管ファイバースコープや腹部超音波検査を得意としていますが、内科、整形外科を含めた総合診療的な立場で患者様のお役に立ちたいと考えています。今後とも宜しくお願ひ致します。



中村部長

1月より当院に着任致しました。以前は香川大学医学部第二外科、坂出市の回生病院に勤務しておりました。消化器外科及び一般外科を専門としております。腹腔鏡手術を含め一般的な外科手術はほとんど阪本病院で行うことができますのでお気軽にご相談下さい。外来は水・木曜日の全日、金・土曜日の午前中です。

形成外科



松尾医師

形成外科は“きずを治す”というテーマを専門的に扱います。機能障害を残さず、きずあとをできる限り目立たなく治すことを目標として、治療を進めております。このため扱う範囲は全身に及んでいます。

当院では、《炭酸ガスレーザー》と《Qスイッチ付きアレキサンドライトレーザー》の二種類のレーザー治療装置を装備しています。《炭酸ガスレーザー》は一種のレーザーメスで組織を切ったり蒸散させたりします。皮膚の小さな腫瘍などの治療が可能です。《Qスイッチ付きアレキサンドライトレーザー》は黒や青の色素に吸収されやすく、メラニン色素の沈着による皮膚病変に効果があります。対象疾患としては太田母斑、蒙古斑、外傷後の色素沈着などがあります。

また褥瘡(床ずれ)の予防、治療も行っています。何かお困りの際はご相談ください。

ホームページがオープン

阪本病院のホームページがオープンいたしました。
ぜひ、下記のアドレスにアクセスしてみてください。

URL <http://www.idm-hcg.co.jp/sakamoto>



リハビリテーション科



藤井科長

当院は、急性期から回復期、維持期までの包括的なリハビリテーションを展開しています。リハビリテーション科には理学療法室、作業療法室、言語聴覚室を揃え、スタッフも理学療法士が10名、作業療法士が1名、言語聴覚士が2名、マッサージ師が4名と充実させていて、非常に明るく活気があります。また、介護保険においても訪問リハビリや通所リハビリを通して、高齢者が少しでも充実した生活をおくれるよう援助することを目標として日々活動しています。

(理学療法)



中川理学療法士

理学療法科では脳卒中や整形外科疾患などの急性期から回復期、維持期まで幅広く、そして積極的に取り組んでいます。痛みに対するアプローチから、歩行をはじめとした各動作能力障害に対するアプローチなどを行い、患者様がより充実した生活をおくれるよう援助しています。

(作業療法)



吉原作業療法士

作業療法士は、身体又は精神に障害のある者、またはそれが予測される者に対し、その主体的な活動の獲得を図るため、諸機能の回復、維持及び開発を促す作業活動を用いて治療・指導・援助を行うことを業務としています。特に起居動作や食事・排泄・整容などのADL(日常生活動作)の向上を目的としており、当院においても急性期より作業療法が介入する事で、ADLの早期自立を目指しています。

(言語療法)



桜川言語聴覚士

言語療法とは脳卒中や頭部外傷等により言語能力に障害を受けた失語症、神経や筋肉の障害によって発音が困難になった構音障害などの、リハビリテーションを行います。一般的に失語症では絵カードやプリント等の教材を用いた訓練を行い、構音障害では主に発声発語器官の運動や発声発語訓練(復唱や音読)等を行うことでコミュニケーションの向上を図っていきます。

各科外来診察日一覧

2004年1月1日現在

科目 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
整形外科	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○
脳神経外科	○	○	○		○	○
泌尿器科	○	○(午前)	○		○	
形成外科	○(午前)		○(午前)		○(午前)	
リハビリテーション科	○	○	○	○	○	○

※日・祝祭日は休診となっておりますが、急患の場合はこの限りではありません。